

無石綿

NSドカモルハードQ

欠損部補修・断面修復用速硬プレミックスモルタル
(再乳化形粉末樹脂混入タイプ)

NSドカモルハードQは、速硬性を有し建築・土木コンクリート構造物の断面修復材に要求される性能の、接着耐久性・強度発現性に優れ、厚付け性等、抜群のこて塗り作業性を有するように設計された高強度ポリマーセメント系断面修復材です。また、壁・床面の補修用途にも使用できます。

特長

- 短時間で硬化し夏季約6時間、冬季は12時間で、水系仕上材の施工が可能です。
- ポリマーセメント系のため有機溶剤を含まず、作業者の健康や環境に優しい製品です。
- こて塗り作業性に優れ、「だれ」、「ずれ」を最小限に抑え、一度に厚さ5~60mmの欠損部補修、厚さ5~15mmの壁面塗り補修、厚さ5~40mmの床面塗り補修に使用できます。
- 再乳化形粉末樹脂の混入により高い接着性と耐久性を示します。
- 一材化製品のため、缶・ボトル等の廃材が発生しません。
- 工場生産による均一配合のため、水練りだけで使用でき、品質管理が容易です。

標準仕様

| 荷姿 | 適用部位 | 適用下地 | 適用仕上げ | 標準調合 | 塗厚 | 標準施工面積 |
|---------------------------|---|-------------------------|--|-------------------|---------|--------------------------------------|
| 20kg/箱 (10kg×2 袋入り) | ジャンカの補修、 鉄筋腐食による 欠損部の断面修復、 モルタルの欠け部分、 壁・床面の補修 | コンクリート、 モルタル、 PC板 | 仕上塗材、 防滑塩ビシート、 長尺シート、 陶磁器質タイル、 防水材、塗床等 | 清水 1.5~1.7kg/袋 | 5~60mm* | 約0.2m ² /10kg袋 (30mm厚) |

注)*: 適用部位毎の標準塗厚は、NSドカモルハードQの施工マニュアルを必ず参照してください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。
水振りをしたのこて押えは、モルタルの表面強度を低下させる要因となりますので、NSハイフレックス HF-1000の3~4倍液を散布してください。

性能

| 試験項目 | 試験結果 | 建築改修工事監理指針「断面修復用ポリマーセメントモルタル」の品質基準(案) |
|--------------------------|---------|---------------------------------------|
| 単位容積質量(kg/l) | 2.03 | — |
| 凝結時間(時間-分) | 始発 | 0-50 |
| | 終結 | 1-10 (試験方法:JASS15 M-102) |
| 曲げ強さ(N/mm ²) | 8.4 | 6.0以上 |
| 圧縮強さ(N/mm ²) | 材齢1日 | 26.6 |
| | 材齢7日 | 47.1 |
| | 材齢28日 | 57.9 |
| 付着強さ(N/mm ²) | 標準養生 | 2.6 |
| | 温冷練り返し後 | 2.9 |
| 吸水量(g) | 17.8 | 20.0以下 |
| 透水量(ml/hr) | 0.08 | 0.5以下 |
| 長さ変化(%) | 0.034 | 0.15以下 |
| 膨張収縮率(%) | +0.07 | (試験方法:JSCE-F 533-1999) |

※上記試験結果はJIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成プロダクト(株)中央研究所

施工法

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。
また、鉄筋が露出して発錆している場合は、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨紙等で錆を除去してください。
*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

下地処理 (吸水調整材塗布)

乾燥後、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。
*吸水の激しい下地の場合は、ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。
*鉄筋が露出している場合は、NSメンテペーストを刷毛で塗布してください。

練混ぜ

NSドカモルハードQ10kgに対し、水約1.5~1.7kgを加え、ハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。
*加水量は1.6kgを目安にして、厚みを要する欠損部の補修には1.5kg、壁面や床面の面補修には1.7kgとし、規定水量内で調整してください。
*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季20分以内、冬季40分以内に使い切り、練直し、水を加えての練直しは避けてください。

塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。仕上材の種類によって、金ごて押え、木ごて押え、刷毛引き等をおこなってください。
*各部位の1回の許容塗付け厚さを超える場合には、数回に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季3時間以上、冬季6時間以上を目安としてください。
*壁で総塗付け厚さ25mm以上かつ0.3m²以上、または上げ裏施工の場合には、ステンレスアンカーピン・ステンレス線を併用してください。

●各部位の1回の許容塗付け厚さ

| 部位 | 許容塗付け厚さ | 備考 |
|--------|---------|-------------------------|
| 欠損部補修 | 5~60mm | 0.3m ² 以下の面積 |
| 壁面塗り補修 | 5~15mm | 3m ² 以下の面積 |
| 床面塗り補修 | 5~40mm | 3m ² 以下の面積 |

養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。
*強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。
*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。
*仕上材の素地ごしらえ等の次工程までの養生は、夏季6時間以上、冬季12時間以上おこなってください。

| | |
|--------------|---|
| 日本建築仕上材工業会登録 | |
| 登録番号 | 1102007 |
| 放散等級区分表示 | F☆☆☆☆ |
| 問合せ先 | http://www.nsk-web.org/ |



使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル ☎ **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。



この印刷物は環境にやさしい大豆油インキ及び一部クリーンエネルギーを使用しています。

1.4-1311.U3000